

ロッシーニ作曲 歌劇「ランスへの旅」

190715

幕	場	場面	内容	分	主な歌う登場人物										見どころ								
一幕 120分	1	ホテルの準備	1825年、ブロンビエールにあるホテル「黄金の百合」では、国王の戴冠式に向かう人々の世話で女中頭マッダレーナ、侍従長アントニオ、医者ブルデンツィオが忙しい。女将のコレテーゼ夫人は、各国の貴族達にホテルを知って貰うため、一生懸命である。	15	コレテーゼ夫人														医者ドン・ブルデンツィオ 女中頭マッダレーナ 侍従長アントニオ	コレテーゼ夫人の歌			
	3	流行を追う伯爵夫人	フォルヴィル伯爵夫人は、戴冠式のために用意した流行の衣装が届かないので、小間使いモデスティーナに催促している。するとそこに夫人の従弟ドン・ルイジーノが、「馬車の事故であなたの衣装はだめになった」と告げるので失神する夫人。助けを呼ぶ従弟の声に、トロムボノク男爵もやってくるが、騒ぐだけである。そこへ小間使いが、「帽子だけは無事でした」と流行の帽子が入った箱を持ってきたので、夫人は「神様ありがとうございます」といって立ち直る。この様子に他の面々はあきれられる。	17	コレテーゼ夫人	フォルヴィル伯爵夫人	ドイツの陸軍少佐トロムボノク男爵												医者ドン・ブルデンツィオ 女中頭マッダレーナ モデスティーナ ルイジーノ	フォルヴィル夫人の歌			
	4	侯爵夫人と男達	会計係を任されているトロムボノク男爵は、侍従長アントニオを呼び止めてチェック・アウト時の精算について相談する。また、男爵はフォルヌヴィル夫人の帽子騒ぎを、この世は「おかしな人間の入った大きな檻」と形容している。 骨董収集家ドン・プロフォンド、スペインの提督ドン・アルヴァロ、イタリアの將軍未亡人でポーランド出身のメリベア侯爵夫人、ロシアのリーベンスコフ伯爵がやってくる。ドン・アルヴァロ提督とリーベンスコフ伯爵は、メリベア夫人を巡って恋の火花を散らしている。コレテーゼ夫人もやってくるが、止めようがない。	13	コレテーゼ夫人		ドイツの陸軍少佐トロムボノク男爵	文学者ドン・プロフォンド	スペイン提督ドン・アルヴァロ	ポーランド出身のメリベア侯爵夫人	ロシアのリーベンスコフ伯爵								侍従長アントニオ	六重唱			
	5		二人のケンカが一触即発の状態になろうとした時、ローマの女流詩人コリンナの奏でる竖琴の美しいアリアが響く。コリンナの「私は望みます、人々の心に同胞愛がゆきわたることを」と歌うと、もめていた一同も心を和ませる。	15															即興詩人コリンナ	コリンナの歌			
	6	コリンナと男達	コリンナを密かに愛するイギリスのシドニー卿がたくさんの花束を持って登場。彼は彼女の部屋の前に匿名で花束を送っているが、コリンナに思いを告げられずにいる。そこへ、骨董収集家のドン・プロフォンドが現れ、骨董品の買い方をシドニー卿に聞くが知るわけなので相手しないが、なおも食い下がるので、適当にあしらう。	45	コレテーゼ夫人														シドニー卿	シドニー卿の歌			
	7		コリンナがシドニー卿が送った花を愛でていると、色男騎士ベルフィオールがやってきて、「あなたは僕の理想の女性」とコリンナに迫る。しかし彼女は「あなたのような人には嘲りと蔑みを引き起こすばかり」といって拒否して出て行く。	15															即興詩人コリンナ	フランスのベルフィオール	コリンナが養母のテリア	二重唱	
	8		骨董品収集家のドン・プロフォンドは、登場人物達のお宝目録を作り一人で夢中である。フォルヌヴィル夫人から騎士ベルフィオールの行き先を聞かれたドン・プロフォンドは「彼なら詩を読んでいた」といふと、夫人は、「あの浮気者! 例の女詩人と一緒ね!」と怒り狂う。	7		フォルヌヴィル伯爵夫人	トロムボノク男爵	骨董家ドン・プロフォンド	ドン・アルヴァロ												ドン・プロフォンドの歌		
	9	目的地がランスからパリに変更	騒ぎを聞きつけた他の登場人物達全員が集まってくる。全員で何があったのか尋ねると、男爵は「馬を一頭も確保できない。我々は残念ながらランスに行けない」と言う。しかし、コレテーゼ夫人が夫の手紙を持ってきて、「国王様は数日中にパリに戻られ、そこでも戴冠式をする」と書かれている。フォルヌヴィル夫人が、「パリならここから乗合馬車が出ているから安心です。それにパリでは私の屋敷に皆様をご招待します。明日にでも出発しましょう」と一同賛成する。余ったお金は、大宴会に使われることになった。	18	コレテーゼ夫人	フォルヌヴィル伯爵夫人	ドイツの陸軍少佐トロムボノク男爵	骨董家ドン・プロフォンド	スペイン提督ドン・アルヴァロ	ポーランド出身のメリベア侯爵夫人	ロシアのリーベンスコフ伯爵								即興詩人コリンナ	シドニー卿	フランスの騎士ベルフィオール	医者ドン・ブルデンツィオ 侍従長アントニオ 侍従ジェルミナ 女中頭マッダレーナ 伝令ゼフィリノ	14重唱
	10	結ばれる侯爵夫人	メリベア公爵夫人とリーベンスコフ伯爵は、ドン・アルヴァーロに対する嫉妬で恋の争いをしますが、トロムボノク男爵の仲裁で仲直りし、伯爵は夫人と結婚する。	12			トロムボノク男爵													メリベア侯爵夫人	リーベンスコフ伯爵	二重唱	
	二幕 45分	11	シャルル10世を讃える	宴会場の準備が整うと、トロムボノク男爵の乾杯の音頭の後、登場人物達がそれぞれの国の音楽にあわせて新国王とフランス王室を讃える。 トロムボノク男爵はドイツ賛歌、メリベア侯爵夫人はポロネーズ、リーベンスコフ伯爵はロシア賛歌、ドン・アルヴァーロ提督はスペイン民謡、シドニー卿はイギリス民謡、フォルヴィル伯爵夫人と騎士ベルフィオールはフランス民謡、コレテーゼ夫人とドン・プロフォンドはチロル民謡、そして最後にコリンナによる即興詩でシャルル10世を讃える。	45	コレテーゼ夫人	フォルヌヴィル伯爵夫人	トロムボノク男爵	ドン・プロフォンド	ドン・アルヴァロ	メリベア侯爵夫人	リーベンスコフ伯爵								即興詩人コリンナ	シドニー卿	ベルフィオール	医者ドン・ブルデンツィオ 侍従長アントニオ 侍従ジェルミナ 女中頭マッダレーナ

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。